

# 辻元清美

内閣総理大臣補佐官・衆議院議員

宅配便2011.6.20

ボランティアと自然エネルギーで日本を変えよう。



大きな被害を受けた、岩手県陸前高田市のボランティアセンターにて。

こんにちは、辻元清美です。東日本大震災から2日後、「阪神淡路大震災の経験と、全国のボランティア団体のネットワークを活かしてほしい」と、私は災害ボランティア担当の内閣総理大臣補佐官に任命されました。それ以降、被災者支援のために官邸と被災地を行き来する日々です。

いま「神戸」で共にボランティアをした仲間が被災地各所でリーダーになっています。力を合わせて「大震災と原発事故」という厳しい現実と格闘中です。

政権内にいる者として、私がやりたいことは二つ。ひとつは、ボランティアを通して「助け合いの社会」をつくること。私は総理官邸の「一人ひとりを包摂する社会」特命チーム座長代理として、誰一人孤立させない社会をつくる政策提言を、今年の夏までにまとめます。親を亡くした子どもたちへの支援や、放射能汚染から子どもを守ることも最重要課題にしています。

もうひとつは「自然エネルギーへの転換」。私は一年生

議員のとき科学技術委員会に所属し、原発の情報公開や安全確保について訴えましたが当時の政府は無視。そして今回、浜岡原発の停止要請がやっと実現！ 様々な反応がありましたが、現実には「止まった」という事実はもう動きません。ここから未来をどう創っていくかが本当の勝負。

ひとたび事故を起こせば、原発は甚大な被害をもたらします。だから大規模・独占型ではなく小規模・地域分散型へとエネルギー政策を転換し、地域資源を活かして自然エネルギーを推進する。利用者が自分の意志で使う電力を選択可能にする。その方が省エネも進み、地域活性化につながります。そのバックアップを政治がやるのです。

未来志向でつながり、政府・自治体・企業・研究者・市民が力をあわせ、新しいエネルギーのビジョンを探ることが大事です。

助けあいと自然エネルギーで日本を変えましょう。

辻元清美

助けあいジャパン



<http://tasukeaijapan.jp/>

# 被災者支援に走り続けています。総理大臣補佐官・辻元清美。



岩手県大槌町にて。町長などが津波の被害に遭い、火災も広がった。プレハブのボランティアセンターで、力を合わせてがんばるみなさんと情報交換。



震災から3日目、首相補佐官に任命。辞令を受けた直後、全閣僚出席の緊急災害対策本部会議に参加。



被害の大きかった岩手県大船渡市市街。



## ラジオ

宮城県山元町のコミュニティFM放送「りんごラジオ」に出演。ボランティアの力を訴えた。



岩手のボランティア基地になっている岩手県遠野市の「遠野まごころネット」で打ち合わせ。この日は寝袋でボランティアの方々と一緒に宿泊。



宮城県女川町にて。「18歳の息子と両親を亡くして立ち直ることはできません」と私の手を握り続けた女性。泣きながら彼女の背中をさすり続けた。



震災発生から3カ月目、岩手県釜石市のボランティアセンターを管総理と訪問。



NPOや経済団体、生協や青年会議所など、全国500団体が参加する「東日本大震災支援全国ネットワーク」の定期協議。政府担当者とともに、仙台会場へ。



福島県相馬市にて、「思い出探し」ボランティアをする地元のみなさんと。



宮城県巨理町の漁港にて。仙谷副長官とともに漁業関係者の方々の悲痛な話を聞き、緊急雇用の枠組みを紹介。



宮城県仙台市で開かれた、孤立死防止の有識者会合に出席。



宮城県石巻市にて。「ボランティア支援のボランティア」をする地元の高校生たちと

## ●政府の「被災者支援チーム」唯一の女性議員！

被災者の方々の生活支援を受け持つ会議が、ほぼ毎日開かれています。仮設住宅やがれき処理、医療福祉、雇用や金融など、あらゆる課題が持ち込まれ一つずつ解決！ここで私は「炊き出しの機材を送ろう」「避難所にパーテーションを」「壁新聞やハンドブックで被災者に直接情報を届けよう」など、女性の視点・生活者の視点から提案を続けています。

## ●ボランティア活動の後押しと窓口の一元化！

「震災ボランティア連携室」を内閣官房に立ち上げ、元「年越し派遣村」村長の湯浅誠さんらとともに、ボランティアが活動しやすくなるよう自治体や省庁間の調整などを行っています。現在、個人ボランティア車両は高速料金が無料になり、ボランティア活動の大学単位認定を推進中。民間サイト「助けあいジャパン」と連携した情報提供などを行っています。さらに、企業ボランティアのための「ボランティア休暇の拡大」を経済界に要請しました。

## ●被災者の方々の雇用にまず500億円！

がれき撤去や子育て支援など復興事業や生活支援に関わる仕事を被災者の方々に担っていただく、と予算を獲得。さらに政府は各種保険料の免除や雇用保険の延長給付、未払い賃金の立替などを行っています。雇用創出効果は20万人。でもまだまだ告知不足。私は被災地を回ってこうした制度を伝え続けています。

## ●観光で被災地を元気に「ボラツアー」を促進！

東北地方は観光業が停滞して困っています。1日は観光してもらい、残りの日はボランティアをする。そんな支援のあり方を、地元の旅館、観光庁や旅行者、ボランティアセンターなどと連携して進めています。



岩手県遠野市。幹線道路の混雑を避けるため早朝からボランティアの送り出しを行う。ラジオ体操の後、身体をほぐす光景。

## 辻元清美は 全力疾走中です。

- 08:45 団体ボランティアの被災地出発式に参加。
- 11:00 定例の被災者生活支援特別対策チーム会合。この日の主な議題は中小企業の事業再建支援について。
- 13:00 内閣府で震災ボランティア連携室会議。寄せられる情報に室員が足で稼いだ情報も加え、中長期の見通しを検討。
- 15:30 「新しい公共」調査会会合、NPO 法改正に向け調整が続く。合間に現地ボランティアコーディネーターから電話。「パーテーションが避難所に配られない」「なんで!?! 政府は送ったで」原因を突き止め、行き渡るよう各所へ指示。
- 16:30 再び官邸へ、担当記者とテーブルを囲んで意見交換。「ゴールデンウィークに向けた政府の活動」に関心が集まる。
- 17:30 財界関係者と会い、「ボランティア休暇の拡大」について支援要請と意見交換。
- 19:00 官邸で各省庁の副大臣と協議。その後政務会合へ。

---

- 09:00 会館事務所で障がい者団体と面談。
- 10:00 突然総理に呼ばれ面談。
- 12:00 官房副長官と昼食。
- 13:30 友人の歌手・石川さゆりさんとともに中央募金会へ。寄付金を届ける立ち会い。
- 16:30 NPO・NGOと各省との定期協議。「女性や子どもの問題に協力しとりくもう」と提案。
- 18:00 会館に戻り被災地選出の国会議員と意見交換。与野党を問わず面会し、ボランティア活動や被災者支援の情報収集。
- 19:00 テレビ出演打ち合わせ。
- 21:30 週末からの被災地入りに向けて、秘書官と打ち合わせ。
- 22:00 政務会合へ。
- 23:45 会館に戻り、メールチェック。その後宿舎へ。資料を読み、明日の会議に備える。

# NPO法改正が実現！

超党派議員連盟の幹事長として取り組みました。

6月15日、NPO法改正案が参議院本会議にて全会一致で可決！約50%の税額控除が可能になる今回の法改正は、辻元清美にとって一年生議員のときにNPO法を作ってから、15年間の悲願。ねじれ国会のなか、辻元清美は超党派のNPO議員連盟(加藤紘一会長)の幹事長として、昨年の秋から法案作りや与野党調整に取り組んできました。これは被災地のボランティア、全国のNPO、さらに思いをともにして動いた超党派議員の「熟議」のたまもの。本当に国民のためになることは、対立や足の引っ張り合いだけでなく「やればできる」の証明です。

下記の通り、この間の経過や改正の中身などを報告します。NPOに関わっている方、関心のある方、是非ご参加下さい。



NPO法改正案成立の記者会見会場で、NPO議員連盟役員メンバーやNPOスタッフのみなど。

## きよみインフォメーション

### ■辻元清美の緊急報告会

『NPO法・寄付税制どこが変わった?』

日時●7月3日(日)

14:00~15:30

会場●高槻商工会議所4F大ホール

ゲスト●早瀬昇さん(大阪ボランティア協会常務理事)

●松原明さん(NPO法人シーズ副代表理事)

入場無料

### ■きよみ流国政報告会「永田町航海記」

『ボランティアと未来をひらく  
——いま被災地では』

日時●7月23日(土)

<島本> 10:30~12:00

会場●島本町ふれあいセンター1F健康教育指導室

<高槻> 14:00~15:30 ※筆記通訳あり

会場●高槻現代劇場(旧館)4F402号室

災害ボランティア担当首相補佐官として東奔西走の辻元清美が、この4ヶ月の活動を報告します。現地で活動するボランティアの方からのお話も予定。

入場無料(要予約)・保育あり(0歳児~、要予約)



### ■ボランティアに参加したい方へ

「ボランティアでいちばん大切なのは『何かしたい』という思いです。その思いは必ず被災地の人たちに伝わります。」香山リカ

同い年で親しい香山リカさん(精神科医)に、「自分で出来るチェックシート&贈ることば」を頂きました。ボランティアに出かける前に、ぜひクリック!

→[http://tasukeaijyapan.jp/?page\\_id=7003](http://tasukeaijyapan.jp/?page_id=7003)

香山さんと辻元清美の対談はコチラ。

→<http://www.kiyomi.gr.jp/>

そして被災地ボランティアに参加したいけど、方法がよくわからないという方、事務所までご相談ください。つじともネットでは関係団体の被災地支援と連携した取り組みを進めています。

予約・問合せTEL072-686-2395 FAX072-686-2396

### 辻元清美『宅配便』2011.6.20

〒569-0805大阪府高槻市上田辺町6-20 寺本レジデンス2F

辻元清美とともに!市民ネットワーク(つじともネット)

TEL072-686-2395 FAX072-686-2396

URL●<http://www.kiyomi.gr.jp/> E-mail●[info@kiyomi.gr.jp](mailto:info@kiyomi.gr.jp)

